

## CONTENTS

- ① 女性の参画が、防災の未来を変える！
- ② 「防災ポーチ」を整えましょう！
- ③ 向き合おう、災害時の性暴力／豊中市危機管理課に聞いてみました！
- ④ 災害に強い社会づくり
- ⑤ すてっぷ防災イベントの実施報告 など

# 女性 × 防災

女性の参画が、防災の  
未来を変える！



男女共同参画ハンドブック

# STEP by STEP



とよなか男女共同参画推進センター すてっぷ

## 女性の参画が、防災の未来を変える！

日本はこれまで何度も大きな災害に見舞われてきました。災害が私たちに与える影響は、身体的にはもちろんのこと精神的・経済的にも甚大なものです。特に女性は、過酷な避難所生活による健康被害、性被害やDV、非正規雇用が多いため仕事を失いやすいなど、あらゆるリスクが高まります。これらをなくすためには、平常時からジェンダー格差の是正が必要です。

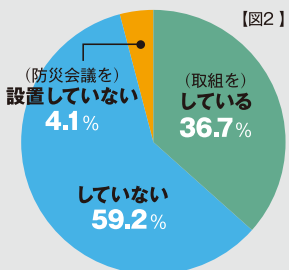
しかし、防災分野は特に女性の参画が進んでいません。防災会議の女性委員の割合は都道府県19.2%、市区町村10.3%、豊中市9.3%です〔図1〕。法令の策定や防災計画の見直しなどをおこなう意思決定の場が男性だけに偏ると、女性の声が届きづらく、多様性に配慮した対策づくりは難しくなってしまいます。

これでは  
女性の声は届きにくいよね



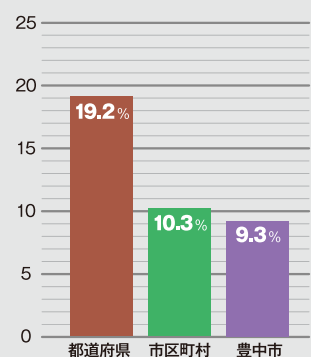
### 市区町村防災会議に女性委員を増やすための取組状況

(政令指定都市を含む1741市区町村)



出典：内閣府男女共同参画局「地方公共団体における男女共同参画の視点からの防災・復興に係る取組状況について フォローアップ調査結果」(2023年)

【図1】 防災会議の女性委員の割合



出典：内閣府男女共同参画局「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」(2022年)を基に作成

まず、防災会議における女性比率を高めることが大きな課題ですが、女性委員を増やす取り組みをしている市区町村はわずか4割弱です〔図2〕。女性比率を高める重要性を認識している自治体がまだ少ないと言えます。各自治体の認識を変えていくとともに、国レベルでの女性比率を上げる働きかけが必要ではないでしょうか。

次に、避難所運営における女性の困りごとの具体例をみてみましょう。



支援物資がもらいづらい…

物資配給の場に男性しかいないと、女性用下着や生理用品をもらいにくいと感じませんか。

プライバシーが守られない…

着替えや授乳するための仕切られたスペースがない、男女別のトイレがない…という避難所運営では、性暴力が起こるリスクを高めています。

ジェンダーの視点に立った避難所運営をするためには、女性の参画はもちろんのこと、高齢者、障害者、外国籍の人、LGBTQ+など、マイノリティの参画を促すことも重要です。多様な立場の人々が発言の機会を与えられ、災害対策の担い手としてリーダーシップを発揮できることが、災害に強い地域づくりの実現に欠かせません。



第3次豊中市男女共同参画計画において、男女共同参画の視点を取り入れた防災・災害対応の推進が必要とされています。すてっぷではこれまで防災関連の講座や啓発事業を行ってきました。今後も行政、教育機関、市民団体などと協働して、防災分野におけるジェンダー格差の解消に向けて取り組みを続けていきます。

すてっぷは、とよなか女性防災プロジェクトの活動の一つとして2014年に「女性と防災に関する提言書」をもって市に提言し、豊中市の防災計画に女性の視点が反映されました。



# 「防災ポーチ」を整えましょう！

～もしもの備えできていますか～



**大槻由美**さん (NPO法人とれじゃーBOX 理事長、合同会社Yutaka 代表社員)

こども会会長をきっかけに地域福祉活動に参加。2009年に防災士資格を取得。以来地域のコミュニティ防災に取り組み、特に女性・ママ視点でのコミュニティ防災を展開。2014年12月にNPO法人を設立し、コミュニティ防災分野で活動している方々の支援に領域を切り替え、福祉と防災を融合させた災害に強いまちづくり支援活動を展開中。  
堺市防災会議委員、八尾市地区防災計画作成支援アドバイザー

非常持ち出しするものを選ぶときは、あなたが避難している間に  
**ないと困る物** を選びましょう。

→ 「あつたら便利かも」ではありません。



自然災害はいろいろありますね。あなたが備えるべき災害を調べて必要な退避時間を予想しましょう。一般的な時間として、**24時間(1日)分** は想定しておきましょう。

→ ハザードマップなどを確認しましょう。

**STEP 1** 今から24時間前までのあなたの行動を思い出してみましょう。  
どんなものを触りましたか？どこで、何をしましたか？

一度でも触れたものは、おそらくあなたにとって「ないと困る物」でしょう。

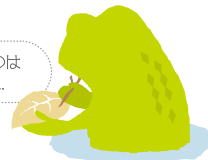
**STEP 2** あなたの「ないと困る物」を書き出してみましょう。

あなたの非常持出品リストのできあがりです。  
トイレ対策としてリハビリパンツ (大人用おむつ) の活用はお勧めです。

**STEP 3** 「あなたの非常持出品リスト」をもとに  
グッズを探しにいきましょう。

**Point** → **1.コンパクト、軽い** **2.何通りも使い道がある**

無いと困るのは  
え〜と...



普段から、防災の視点で商品棚を眺めると、いろいろな知恵と工夫を思いつくようになります。防災用品だけでなく、旅行用品、介護用品のコーナーはぜひチェックしてみてください。100円ショップ、ホームセンター、ドラッグストアにも行ってみましょう。

選ぶコツってあるのかなぁ...  
防災用品ってたくさんあって  
何を選んだらいいのかわからないよ...



例えば

- **手ぬぐい** ..... 手や体をふく、頭を覆ってほこりを除ける、応急手当など。
- **風呂敷** ..... 物を包む、運ぶ、カバー(目隠し)にしてプライバシーを守るなど。いろいろな用途で活躍します。普段使いしておくともよいでしょう。

### 女性向けアイテム例

- **リハビリパンツ**
- **生理用品** (ナプキン、ピタ)
- **おしりふき、おりものシート**
- **消臭袋**
- **身支度品**  
(アイブロー、クレンジングシート、くしなど)
- **笛・防犯ブザー**  
(身の危険があった時に周りの人に知らせるツール)
- **ペンライト** (自分の安全のため)
- **使い捨てカイロ** (冷え対策)
- **帽子** (頭を覆うもの)
- **マスク**
- **ボンチョ** (着替え対策)
- **ブラトップ**

### 高齢者向けアイテム例

- **老眼鏡**
- **入れ歯**
- **尿取りパット**
- **爪切り**
- **湿布薬** など

### 赤ちゃん連れ家庭向けアイテム例

- **液体ミルク**
- **おむつ、おしりふき**
- **消臭袋**
- **子どものお気に入りおもちゃ**
- **体をくるめる布** など

### 外国人向けアイテム例

- **普段食べ慣れている食品** など  
(ハラル認証を受けた食材などは支援物資では入手しにくくなります。)

**STEP 4** 「あなたの非常持出品リスト」を再点検してみましょう。

飲料水、あなたのために処方された **薬**、携帯トイレ、LEDライト、モバイルバッテリー、現金 (小銭を含む)、家の鍵、あなたの **大切な番号メモ** などは準備しておきましょう。

## 向き合おう、災害時の性暴力

災害時に起こる性暴力として、「対価型(地位利用型)の性暴力」があります。避難所のリーダーや生活を援助する親戚など立場の強い男性が、支援をする見返りとして性的な行為を強要するものです。脆弱な立場に立たされた女性(夫と死別・離別、未婚、シングルマザーなど)が特に標的にされがちです。

また、夫や交際相手から受けるDVも災害時の暴力に該当します。平常時にも夫等からDVを受けていた場合は、災害発生後も継続的に暴力を受ける傾向があり、暴力の種類が変化したり、より悪化することもあります。

災害時に性暴力が起こることは、信じがたいことかもしれません。阪神淡路大震災の起きた1995年当時、性被害はデマだとされ、被害者をバッシングする声がメディア等で多くありました。2011年の東日本大震災では警察官らによる避難所等の見回りがなされ、被災地での性暴力対策が前進した面もありますが、性暴力の根絶には至っていません。

性暴力を受けた苦しみを周囲から理解されず、被害者が二次的な被害を受けるケースも少なくありません。どんな状況下であっても悪いのは加害者です。私たち一人ひとりが、災害時に性暴力が起こりうる事実を知り、「女性や子ども(男性も被害を受ける可能性があります)に対する性暴力は許されない」という認識を広げていくことが大切です。

参考資料: 東日本大震災女性支援ネットワーク「東日本大震災「災害・復興時における女性と子どもへの暴力」に関する調査報告書」(2015年1月改定ウェブ版)

ひとりで悩まず、相談してください。



性暴力救援センター・大阪SACHICO 072-330-0799

(24時間受付)

[すてっぷ相談]

- 女性の生き方総合相談・ガールズ相談 06-6844-9820
- 男性のための電話相談・ボーイズ相談 06-6844-9111

災害などの非常時には誰も気持ち不安定になりがちです。そんな時、あなたの気持ちを話せる場所があることを忘れないでください。

第3次豊中市男女共同参画計画及び豊中市地域防災計画には、すてっぷの役割として「災害時における女性の悩み・暴力に関する相談サービスを提供する」とされています。

## 豊中市 危機管理課に聞いてみました!

危機管理課とは、市民の皆さんの安全を守るため自然災害や大事故などが起こった時の対応をする部署です。防災に関する情報の収集・啓発も行っています。

防災の取組み、いろいろおしえてください!



### Q 阪神淡路大震災を経て、市の防災の取組みに何か変化はありましたか。

A 豊中市は地理的に阪神地区と隣接していることから、大阪府内では最も甚大な被害を受けました。この教訓から、当市では大災害が発生した時に致命的な被害を負わないように、また速やかに回復できる地域づくりの実現のため、「豊中市強靱化地域計画」を策定しました。被災による直接死を最大限に防ぐ、救助・救急の活動を迅速に行うなどの事前に備えるべき目標を設定し、その達成に向けた取組み(危機管理課では、備蓄管理、企業との協力体制の強化、防災啓発など)を実施しています。

### Q 地域防災計画では、男女共同参画の視点を取り入れた災害・防災の推進がされていますが、特に心がけている点はどのようなことでしょうか。

A 地域では避難所運営等の協議をする場で、女性の意見や提案を積極的に取り込んでいくようにしています。危機管理課では備蓄物資の生理用品について、種類を増やした方がいいと女性職員から意見をもらい、実際に見直しがされました。日ごろから女性が参画しやすい環境を一人ひとりが意識してつくるのが、災害時の適正な避難所運営等につながると思います。

### Q 備蓄用品で女性向け、子育て世代向けを意識したものはありますか。

A 女性向けには生理用品や尿漏れパッド、子育て世代向けにはおむつや哺乳瓶があります。その他備蓄物資と同様に必要と想定される数量を備蓄し、定期的に新しいものと入れ替えをおこなっています。

### Q 豊中市の自主防災組織の活動における女性の関わり方について教えてください。

A 豊中市では2023年9月現在で、167団体の自主防災組織があり、防災訓練や防災講座を通しての学習など、多くの団体が精力的に活動されています。そのうち、女性が代表者となっているのは約30団体です。比率としては少ないので、さらなる女性の参画を促すことが課題といえます。

### Q 今後の展望について教えてください。

A すてっぷを含めた外部の機関とより連携し、女性・高齢者・障害者など多様性を意識した防災活動や啓発活動を充実させていき、立場や状況の違う人たちのことを考えて行動する、という意識づくりを進めていけたらと思っています。



# 災害に強い社会づくり

～男女共同参画がカギ～

浅野 幸子 さん (減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表)

## なぜ男女共同参画の視点から 防災・復興を 考える必要があるのか。

災害は人々を平等に襲うわけではありません。性別、性自認、年齢、障害の有無や程度、人種・国籍・母語の違い、家族構成、経済力などによって災害の影響と直面する困難の傾向は異なります。

わかりやすく、避難所の例を取り上げてみましょう。大規模災害時の避難所は、避難者自身や地域の人も運営に参加・協力していく必要がありますが、東日本大震災以前は、避難所の意思決定を担うのは自治会や自主防災組織の役員を務めるシニア男性が中心で、女性は炊き出しといった固定的性別役割による分担が主流でした。

しかしこうした体制だと、女性も困りごとを相談しにくく、プライバシーや防犯、生理用品や下着といった女性が特に困ることへの対応が遅れるだけでなく、衛生・栄養・育児・介護という被災者の命と健康に

かかわる生活課題全般への目配りができない状況に陥ることになってしまいます。ニーズが顕在化しなければ、支援も遅れますので、その避難所全体の支援の質が低下してしまうことになります。だからといて、すでに家族ケアの負担を担っていることが多い女性だけで意思決定から細かい仕事まで全て担うのでは負担が大きすぎます。

大切なことは、偏りをなくすということです。意思決定の場には男女バランスよく入るようにし、食事の提供・掃除などは男性も入ってみんなで取り組みましょう。そのためにも、平常時の防災体制や防災活動を男女共同参画で進めることが大切です。これは行政の防災体制も同様です。緊急避難行動についても、平日昼間は通勤・通学者は他の地域へ出ていることも多く、女性と高齢者が対応の中心とならざるを得ませんし、仕事も育児・介護もしやすい街に復興していくことも大切です。予防から復興まであらゆる局面で女性の参画は重要となります。なお、男性も災害時には、組織責任や家庭の経済的責任から

過労や自殺のリスクが、また、復興期には仮設住宅等における孤立・孤独死のリスクが高まる傾向にあります。女性でも組織責任・経済責任を負っている人も少なくありません。家族ケアの負担の多くは女性が担っていますが、父子家庭や男性が介護をしている世帯もあります。

男女双方の困難傾向を踏まえることで、全ての人・世帯が助かる状況をつくっていくことが大切ですし、それは、平常時の暮らしやすさにもつながっていくはずで

## 人権の視点に立った 防災教育の重要性と 男女共同参画センターに 期待される役割

女性だけでなく、子ども・高齢者・障害者・外国人・性的マイノリティの方など、災害時により困難な状況に直面する人たちはさまざまに存在しますが、災害時でも、全ての人々が安全・安心に過ごすことができるようにするためにも、一人ひとり人権を尊重し、困りごとの傾向や個別事情を理解し合うことが重要です。

そうした人権課題を身近なものとして想像しやすいのが災害というシチュエーションですから、避難生活での助け合いなど、人権の視点を入れた防災教育を進めることは、平常時の人権意識の向上や多様性の理解を進めるうえでも有効と考えます。

なお、男女共同参画センターは、研修、情報提供、女性グループはじめ市民団体の自主活動の場の提供、相談、調査研究などの多様な機能をもっていますが、過去の災害では、相談支援、市民団体との連携による物資提供をはじめとした生活支援、女性の居場所づくりやエンパワーメントなどにも取り組んでいます。

こうした経緯から、国の防災基本計画にも、男女共同参画センターが地域における防災活動の推進拠点となるようにする、平常時及び災害時における男女共同参画担当部局及び男女共同参画センターの役割について明確化しておくことと明記されています。

それだけに、男女共同参画センターが、地域や学校と連携しながら、人権の視点にもとづく防災学習の機会をつくっていくことは、誰一人取り残さない、災害に強い社会づくりにとっても重要と考えます。

阪神・淡路大震災の被災地で支援活動に従事。2011年6月に発足した東日本大震災女性支援ネットワークに参画、2014年から現職。「避難所運営ガイドライン」(2016)「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」(2020)策定など、国や自治体の防災政策にもかかわる。法政大学大学院公共政策研究科後期博士課程修了。博士(公共政策学)。

# すてっぷ防災イベントの実施報告



## 防災グッズ体験会

2023 **9/1**(金)18:00~20:00 **2**(土) 10:00~12:00  
14:00~16:00 実施

防災グッズ体験会には109人の方が参加し、展示の段ボールベッドや簡易トイレ等の防災用品に触れながら学び、多様に配慮した避難所がどのようなものか知ってもらう機会になりました。

**【段ボールベッド】** 体育館等の床で眠る雑魚寝は、血栓やエコノミー症候群になる確率が高まってしまうので、ベッドの方が体に良いとされています。



### 避難所づくりのポイント!

- 間仕切りやカーテンを引くなどして、プライベート・スペースを確保する。
- 外から中が見えない高さの仕切りがあると、着替えも安心して行えます。



### 【簡易トイレ】

災害時は和式だけでなく、高齢者等が利用しやすい洋式トイレの設置が必要です。

### 避難所づくりのポイント!

- 女性トイレと男性トイレは離れた場所に設置する。
- 女性トイレに女性用品・防犯ブザーの配置、仮設トイレは女性用を多めに設置する。
- トイレの個室、トイレまでの経路に夜間照明を設置する。

参考資料：内閣府男女共同参画局「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」(2020年)

## HUGゲーム

2023 **12/2**(土) 13:00~16:00 実施

避難所運営ゲーム「HUG」をとおして、ジェンダーの視点から誰もが安心して過ごせる避難所運営について考え、防災意識を高める場となりました。



### HUGとは?

- 避難所運営をみんなで考えるためのアプローチとして、静岡県が開発した図上訓練です。
- 具体的で実践的な避難所運営を疑似体験できます。

(静岡県HPより)

# ブックリスト (すてっぷ情報ライブラリー所蔵)



## 災害女性学をつくる

浅野 富美枝・天童 睦子 編著  
生活思想社 2021年



## 女たちの避難所

垣谷美雨 著  
新潮文庫 2017年



## 災害と性暴力

Nursing Today  
ブックレット編集部 編  
日本看護協会出版 2023年



## ナガサレール イエタール

ニコ・ニコルソン 著  
太田出版 2013年  
※2020年完全版発売

# インフォメーション

## 豊中市 LINE(ライン) 公式アカウント

避難所情報やハザードマップ、水道・ガス・停電などの防災・ライフラインの情報をまとめて確認することができます。



## 災害用伝言ダイヤル(171)

地震等の災害が発生した際に利用可能となる伝言の録音・再生サービスです。固定電話・公衆電話・携帯電話やPHSからもダイヤルできます。

利用例

【伝言の録音】  
**171+1+ 電話番号**  
(市外局番から)

【伝言の再生】  
**171+2+ 電話番号**  
(市外局番から)



【録音】  
171+1+Aさんの電話番号



【再生】  
171+2+Aさんの電話番号

参考資料：豊中市「防災ガイド 災害対応編」(2015年)



### ■ 情報ライブラリー

男女共同参画社会の実現に向けた  
専門図書室です



### ■ 相談

あなた自身の力を大切にしなが  
次の一歩を踏み出す応援をします



### ■ 講座・イベント

男女共同参画を推進するための  
講座、イベントを実施しています



### ■ 貸室

市民活動など非営利のイベント等に  
利用できます

[企画・編集・発行]

## とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ

指定管理者：一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団



〒560-0026 大阪府豊中市玉井町 1-1-1-501

TEL 06-6844-9772 (代表) FAX 06-6844-9706

■ 開館時間 9:00～21:30 (水曜・年末年始 休館)

<https://toyonaka-step.jp/>



X @toyonaka\_step



LINE



[発行日] 2024(令和6)年3月1日